

破天荒

教宣部

4982号

2014年
11月 6日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合



冬一時金 2.69ヶ月

回答指定日の昨日、年末一時金について組合員への月数回答がありました。三社組合員9名への月数は二・六九ヶ月、査定はありません。みんな頑張っています。

組合員でない

組合員は三社合算の一人月間経常利益で計算された月数どんぴしゃでした。組合員以外はそれぞれの会社の一人月間経常利益で計算された月数±査定〇・二ヶ月となる従来方式です。組合で計算すると、電子 二・八一ヶ月 システム 計算対象外 オプト 二・五四ヶ月 となりまして。

組合は生活のための安定した一時金、差別されない



査定のない一時金を求めており、三社合算の業績とすることにより計算式による業績連動の一時金といえど三社別より安定しているといえます。

システムでは

計算式の対象となる一人月間経常利益の赤字 八万

十一月ともなれば、秋なのか冬なのか迷う日が続きますが、秋闘(制度)要求について一向に会社から歩み寄る姿勢はありません。組合が要求しなくても会社は困っている人には制度改善を行うという姿勢表示なのでしようが、今秋闘で会社より出された転勤者の社宅補助について「改善提案」の説明では「単身赴任は短期とし現地採用を原則と

三千円を三年連続で上回るという危機的状況が続いていますが、会社説明では「赤字解消が目標であったが結果として赤字縮小となった。営業体制は整った。これで新商品開発中の検査事業部が良くなれば期待できる」としています。

オプトでは

夏の一時金で三・一七ヶ月だったオプトで急降下の二・五四ヶ月となりました。会社は元々メディアカル関連は冬の対象期間中、売上が

伸びないという時期的要因があるし年間を通じてみれば心配するほどではないと説明されましたが、従業員の生活という視点で見ればがっかりです。

電子では

「売上目標を現実的のものとして達成する中、外部仕入れ比率削減目標も達成して経常利益を確保した」としています。

悪い時もあれば良い時もある、三社が揃って良いに越したことはないんだけど、三社三様だからこそ補い合って安定する。まるでグループセンターのような発想ですね組合って。

晩秋なのか初冬なのか

「十一月ともなれば、秋なのか冬なのか迷う日が続きますが、秋闘(制度)要求について一向に会社から歩み寄る姿勢はありません。」

「組合が要求しなくても会社は困っている人には制度改善を行うという姿勢表示なのでしようが、今秋闘で会社より出された転勤者の社宅補助について「改善提案」の説明では「単身赴任は短期とし現地採用を原則と

ひとこと

京都新聞のコラムからのパクリになるが、辞書「大辞泉」に新たに収録する言葉の話。言葉は生き物、時代や状況次第で変わる。言葉に対する思いは、年齢や性別、職歴、価値観など、それぞれの人生を色濃く映す。例えば言葉「嘘を真実に、真実を嘘の変化させることができ

る道具」結婚「幸せの種を買うこと。咲くか枯れるかは育て方次第」青春「前から見えると無色透明だが、振り返って後から見ると青くまぶしいもの」

お金「人々の幸せを作り人々の争いを作るもの」戦争「人間をコマとした、権力者の将棋」「平和の尊さを感じさせる最も愚かな手段」など面白い。

「積極的平和主義」は安倍首相の語釈を、「あるべき姿」は会長の語釈を是非とも拝聴したい。

